

1. 科目名 (単位数)	教育行政学特論 (2 単位)	池袋	3. 科目番号	EDMP5238
2. 授業担当教員	新井 秀明			
4. 授業形態	演習		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし			
7. 講義概要	本講義では、教育行政学の理論上の問題を検討するとともに、個々人が享受してきた教育行政・制度に関するものの見方や考え方を問い直すことを目的とする。さらに、今日の教育行政学が対象とすべき教育行政の当面している実践的な諸問題について、文献、資料等を通して検討し、問題解決に向けた討議する力・提案する力を養う。			
8. 学習目標	1. 現代日本の教育行政の歴史の変遷、課題等について批判的に検討した上で、その経緯や意義について説明することができる。 2. 現代日本の教育行政の多様な機能を理解し、その役割について理解した上で、説明することができる。 3. 現代日本の教育行政の政策的、理論的課題について認識を深め、自ら課題を見つけ出し、発表することができる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業の感想・要望・質問等について、毎回 800 字程度のコメントを書いてリアクションペーパーを提出する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】横井敏郎編『教育行政学』第5版、八千代出版、2024 【参考書】村上祐介・勝野正章編『(改訂新版)教育行政と学校経営』、放送大学教育振興会、2024 勝野正章編『教育の法制度と経営』、学文社、2020 勝野正章・藤本典裕編『教育行政学』改訂新版、2015			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 出席率 20%、小課題レポート、最終レポートを総合的に判断する。 ○評定の方法 出席率の他、小課題レポート、最終レポートの内容で中心に評価する。			
12. 受講生へのメッセージ	戦後日本の教育行政の歴史を振り返り、特に 1980 年代から現在に続く教育行政の新しい展開と課題について、資料を用いながら多面的に考察する。			
13. オフィスアワー	授業終了後およびメールで行う。			
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	教育行政と教育行政学			
	【学習の目標】教育行政と教育行政学とは何かを理解する。教育法と教育行政の変容をふまえて教育行政学の課題を考える。 【学習の内容】教育行政と教育行政学の定義。教育法と教育行政学の近年の変容。教育行政学の課題。 【キーワード】教育行政の主体、教育基本法の改正、教育法と教育行政学 【学習の課題】教育行政動態の客観的・実証的把握だけでなく、教育の目標や質を誰が決め、どのように保障していくのかの規範的 原理的究明が教育行政学の課題であることを理解する。 【参考文献】勝野正章・藤本典裕編『教育行政学』改訂新版、2015、<第1章> 【学習する上での留意点】授業の導入として授業の全体像をおおまかに理解しておくこと			
2. テーマ	憲法と教育基本法			
	【学習の目標】戦後の日本国憲法・教育基本法の制定と内容、教育基本法改正の特徴を理解する。 【学習の内容】戦後日本の憲法関係条項、1947年教育基本法の制定過程と法的特徴。2006年改正教育基本法の法的特徴。 【キーワード】憲法の教育関係条項、教育基本法の制定と内容、教育基本法(旧法・新法) 【学習の課題】憲法の教育関係条項、1947年と2006年の教育基本法を比較して連続面と断続面を理解する。 【教科書】横井敏郎編『教育行政学』第5版、八千代出版、2024、<第1章> 【学習する上での留意点】2006年教育基本法の特徴を説明できるようになる。			
3. テーマ	文部科学省と教育政策形成			
	【学習の目標】国の教育行政機関の組織と運営、構造改革期の教育政策形成の特徴を理解する。 【学習の内容】戦後の教育行政システム、文部(科学)省、中央教育行政の組織と運営、及び教育政策形成の特徴を学習する。 【キーワード】文部省設置法、文部(科学)省、中央教育審議会、官邸主導の教育政策形成 【学習の課題】戦後の教育行政と教育政策の展開、官邸主導の教育政策形成を調べること 【教科書】横井敏郎編『教育行政学』第5版、八千代出版、2024、<第2章> 【学習する上での留意点】官邸主導の教育政策形成の背景が何か説明できるようになる。			
4. テーマ	教育委員会制度			
	【学習の目標】教育委員会制度の理念としくみ、変遷、近年の改革と課題を理解する。 【学習の内容】一般行政とは区別された教育委員会制度の中で、教育行政が運営される公教育の中立性の理念とする。 【キーワード】教育委員会制度、教育長、地方教育行政法、レイマン・コントロール、総合教育会議 【学習の課題】地方教育行政法、レイマン・コントロール等の語を用いて、教育委員会制度の意味を説明する。 【教科書】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第3章> 【学習する上での留意点】教育委員会制度改革論議の背景を説明できるようになる。			
5. テーマ	教育財政と教職員配置			
	【学習の目標】教育財政と教職員配置のしくみと課題を理解する			

	<p>【学習の内容】義務教育財政制度、高校教育財政制度、私学助成、教育財政改革と教職員配置のしくみと課題。</p> <p>【キーワード】義務教育費国庫負担制度、地方交付税制度、学級編制、総額裁量制、教職員定数、教員不足</p> <p>【学習の課題】教育財政、学級編制、教職員定数を運動させる日本の教育条件整備の特徴を調べる。</p> <p>【教科書】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第4章></p> <p>【学習する上での留意点】教育支出を国際比較することで日本の教育財政の特徴を説明できるようになる。</p>
6. テーマ	教育課程行政
	<p>【学習の目標】教育課程の編成について、国及び地方公共団体、学校の果たす役割について学習する。</p> <p>【学習の内容】教育課程の編成について、国及び地方自治体、学校がどのような役割を担っているかを学習する。</p> <p>【キーワード】教育課程行政、学習指導要領、教育課程経営（カリキュラム・マネジメント）</p> <p>【学習の課題】教育課程行政、教育課程経営、教科書制度等の用語を調べ、国及び地方自治体、学校の役割を学習する。</p> <p>【教科書】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第5章></p> <p>【学習する上での留意点】教育課程において、国及び地方自治体、学校の各役割を説明できるようになる。</p>
7. テーマ	教科書制度
	<p>【学習の目標】教科書検定制度、採択制度について学習する。</p> <p>【学習の内容】教科書検定のしくみ、教科書問題と検定訴訟、教科書の採択のしくみ、教科書採択をめぐる問題を理解する。</p> <p>【キーワード】教科書検定、教科書採択、教科書制度</p> <p>【学習の課題】教科書検定や採択のしくみと課題を理解する。</p> <p>【教科書・参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第5章> 勝野正章編『教育の法制度と経営』、学文社、2020、<第7章></p> <p>【学習する上での留意点】望ましい教科書制度のありかたを考える。</p>
8. テーマ	教育を受ける権利と公教育制度
	<p>【学習の目標】戦後の公教育制度の基本原則・しくみを学習する。</p> <p>【学習の内容】学校の種類、私立学校、義務教育制度、高校教育制度、特別支援教育制度の概要を理解する</p> <p>【キーワード】学校体系、学校間接続、就学義務、義務教育無償、学校設置義務、</p> <p>【学習の課題】戦後日本の公教育の原則・しくみを調べる。</p> <p>【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、八千代出版、2024、<第6章1節から4節></p> <p>【学習する上での留意点】日本の義務教育の特徴は何か説明できるようになる。</p>
9. テーマ	教育を受ける権利と教育保障の課題
	<p>【学習の目標】長期欠席・不登校の子ども、外国につながる子どもの教育保障の課題を考える。</p> <p>【学習の内容】長期欠席・不登校の子ども支援、外国につながる子どもの教育、教育機会確保法の制定</p> <p>【キーワード】フリースクール、外国人学校、教育機会確保法</p> <p>【学習の課題】不登校児童生徒の居場所や学習の場や、フリースクールの事例を調べる。</p> <p>【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、八千代出版、2024、<第6章5節></p> <p>【学習する上での留意点】不登校、外国につながる子の教育保障の課題を具体的事例から考える。</p>
10. テーマ	学校組織と学校経営
	<p>【学習の目標】学校組織の特性を理解し、望ましい学校経営を学習する。</p> <p>【学習の内容】学校組織の特性を理解し、校長を中心とする民主的で自律的な学校経営を実現させ、学校教育の質の向上を経営の視点からとらえ直す。</p> <p>【キーワード】学校の組織特性、自律的学校経営、校務分掌、職員会議</p> <p>【学習の課題】学校の組織特性、自律的学校経営等の用語を用いて、望ましい学校経営のあり方を説明する。</p> <p>【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第7章></p> <p>【学習する上での留意点】教育の質の向上に向けた学校組織と学校経営の変容を説明できるようになる。</p>
11. テーマ	開かれた学校づくり
	<p>【学習の目標】「開かれた学校づくり」政策の背景・展開を理解し、現状・課題を学習する。</p> <p>【学習の内容】「開かれた学校づくり」政策の背景、学校運営協議会制度、地域学校協働活動の現状と課題を学習する。</p> <p>【キーワード】学校と地域の連携、開かれた学校づくり、学校運営協議会制度、地域学校協働活動</p> <p>【学習の課題】地域と学校の連携のあり方を、学校運営協議会等の現状・課題から説明する。</p> <p>【教科書・参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第7章> 勝野正章編『教育の法制度と経営』学文社、2020、<第6章></p> <p>【学習する上での留意点】日本で「開かれた学校」が、なぜ問題になるのかを考える</p>
12. テーマ	教職員制度と教員の仕事
	<p>【学習の目標】教職員の服務・身分保障、免許・養成・研修及び専門職としての教員の仕事について、多面的に学習する。</p> <p>【学習の内容】教職員の服務・身分保障、免許・養成・研修、教員の仕事の専門的内容について学習する。</p> <p>【キーワード】教職員制度、主任制度、県費負担教職員、教員免許、指導改善研修</p> <p>【学習の課題】教職員制度、教員の仕事、専門職者としての教師等の用語の意味を深く理解できるように学習する。</p> <p>【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第8章1節・2節></p> <p>【学習する上での留意点】教員免許更新制はなぜ導入され廃止されたか、研修のあり方を含めて考える。</p>
13. テーマ	教員評価・人事管理と教職員の労働条件
	<p>【学習の目標】教員評価・人事管理と教職員の労働条件について、多面的に学習する。</p> <p>【学習の内容】新しい教員評価、教員の病気休職者数の増加、外部専門家との連携と業務の改善について</p> <p>【キーワード】新しい教員評価、教員の地位に関する勧告、専門職としての教師</p> <p>【学習の課題】新しい教員評価の用語の意味を深く理解できるように学習する。近年の</p>

<p>【参考文献】 横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第8章3節> 【学習する上での留意点】日本の教員はなぜ多忙になるのか、その解決策も含めて考える。</p>	
14. テーマ	学校を支える教職員・施設と専門職協働
<p>【学習の目標】学校を支える多様な教職員と専門職の協働を学ぶ。 【学習の内容】学校施設と多様な教職員など、多様な専門職と教員が協働する学校運営（チームとしての学校） 【キーワード】養護教諭、司書教諭、栄養教諭、学校事務職員、チームとしての学校 【学習の課題】多様な教職員の意味を深く理解できるように学習する。 【参考文献】 横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第9章> 【学習する上での留意点】チームとしての学校の具体的なイメージを説明できるようになる。</p>	
15. テーマ	子どもの権利条約と学校の課題
<p>【学習の目標】子どもたちが安全に学校生活を送り、安心して学習するための子どもの権利の課題を学習する。 【学習の内容】子どもの権利条約批准30年、意見表明権、いじめ問題、学校安全など学校における子どもの権利保障の課題を明らかにする。 【キーワード】子どもの権利、子どもの権利条約、意見表明権、三者協議会、子どもの権利条例、いじめ問題、学校安全 【学習の課題】校則への意見表明権、学校における子どもの権利保障の具体的な課題を調べ、説明する。 【参考文献】 横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第10章> 【学習する上での留意点】テーマは「学校」であるが、不登校の居場所やフリースクールなど、教育を受ける権利を保障する教育空間は多様であることに留意する。</p>	